

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

市民経済部市民活動課(勤労者福祉担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			32,586
・ 給料	一般職		14,919
	一般職職員	3人	
・ 職員手当等			12,673
	扶養手当		823
	地域手当		2,485
	通勤手当		388
	超過勤務手当		701
	休日給		71
	管理職手当		825
	期末勤勉手当		6,528
	住居手当		592
	管理職員特別勤務手当		0
	子ども手当		260
・ 共済費			4,994
	市町村職員共済組合負担金		

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

労働環境対策事業

【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生を充実するとともに、雇用対策の充実を図る。

【事業の内容】

(1) 労働環境対策事業

- ・労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
- ・雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
- ・求職者向け就業支援事業を行った。

(2) 労政運営事務

- ・労政全般にわたる庶務的業務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

雇用対策の推進(6-4-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,942	3,942	3,774		168
主な支出内訳				
・労働環境対策事業				
湘南就職面接会用消耗品費				50
湘南就職面接会求人チラシ印刷製本費				76
雇用対策セミナー実施委託料				294
求職カウンセリング事業委託料				315
湘南就職面接会会場借料				55
県駐労福祉センター運営費補助金				38
労働祭補助金				340
鎌倉地区勤労者体育大会補助金				171
三浦半島地域連合活動費補助金				80
鎌倉地域労働組合総連合文化厚生事業補助金				80
・労政運営事務				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,016

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

技能振興事業

【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 技能職者

意図 技能者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【事業の内容】

(1) 技能振興事業

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動支援により、技能振興事業を支援した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
570	570	500		70

主な支出内訳

・技能振興事業

技能者表彰記念品等報償費

200

技能職団体連絡協議会補助金

300

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

勤労者福利厚生事業

【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、住宅資金利子補給、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【事業の内容】

(1) 融資預託事業

- ・市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利の増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に、資金を預託した。

(2) 勤労者福利厚生支援事業

- ・中央労働金庫から住宅資金融資を受けた勤労者に支払利子額(平成22年9月償還開始分まで)の一部を、勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を、それぞれ補助した。
- ・福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出 (22.4~23.3)		貸出残高 (23.3 末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	7	5,690,000	62	30,924,971

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,325	39,325	38,157		1,168

主な支出内訳

・ 融資預託事業	
中央労働金庫預託金	30,000
・ 勤労者福利厚生支援事業	
住宅資金利子補給金	5,725
中小企業退職金共済掛金補助金	1,832
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金	600

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎勤労者福祉サービスセンターの経費

勤労者福祉支援事業

【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者

意図 (社)鎌倉市勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【事業の内容】

(1) 勤労者福祉支援事業

- ・ 勤労者福祉サービスセンターへの委託により、労働相談等の相談事業を行った。
- ・ 勤労者福祉サービスセンターが行う講座等の事業へ補助金を交付した。

(2) 勤労者福祉サービスセンター助成事業

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の実現を目的として事業を行う勤労者福祉サービスセンターへ補助金を交付した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

(社)鎌倉市勤労者福祉サービスセンターへの支援(6-4-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,775	32,775	31,974		801
主な支出内訳				
・ 勤労者福祉支援事業				
勤労者福祉サービスセンター事業委託料				1,000
勤労者福祉サービスセンター事業補助金				885
・ 勤労者福祉サービスセンター助成事業				
勤労者福祉サービスセンター運営費補助金				30,089
主な特定財源				
・ 国県支出金				8,600

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 10会館管理費

◎勤労福祉会館の経費

勤労福祉会館管理運営事業

【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者等

意図 レイ・ウェル鎌倉の適切な維持管理をするため。

効果 適切な維持管理を行い勤労者福祉のための事業を実施する。

【事業の内容】

- (1) 勤労福祉会館運営事業
 - ・ 指定管理者との連絡調整を行った。
- (2) 勤労福祉会館管理事業
 - ・ レイ・ウェル鎌倉を良好な状態に維持するため、必要な施設・設備修繕を行った。
 - ・ 指定管理者との協定に基づき、指定管理料を執行した。

レイ・ウェル鎌倉利用状況

区 分	延件数	延人員
ホール・会議室等	4, 571件	58, 479人

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
65,587	65,587	65,137		450
主な支出内訳				
・ 勤労福祉会館運営事業				
レイ・ウェル鎌倉指定管理者選考委員会委員報償費				104
ファクシミリ等賃借料				90
・ 勤労福祉会館管理事業				
レイ・ウェル鎌倉維持修繕料				
屋上膨張水槽取替修繕				1,103
自動ドア装置取替修繕				1,037
屋外看板・鉄柱撤去修繕				114
2階床張替修繕				900
レイ・ウェル鎌倉指定管理料				61,479
レイ・ウェル鎌倉一部休館措置負担金				310

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 5農業委員会費

◎農業委員会の経費

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【事業の内容】

- (1) 農業委員会事務
・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,910	6,910	6,744		166
主な支出内訳				
・ 農業委員会事務				
農業委員会委員報酬 16人				6,264
農業委員費用弁償				33
事務局職員普通旅費				79
遊休農地解消対策事業消耗品費				95
農業委員大会用バス賃借料				74
農業委員会職員事務研究会会費負担金				12
主な特定財源				
・ 国県支出金				34

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 10農業水産業総務費

◎農業水産業一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

市民経済部産業振興課(農水担当)

農業委員会事務局

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			59,567
・ 給料	一般職		26,286
	一般職職員	8人	
・ 職員手当等			23,076
	扶養手当		583
	地域手当		4,031
	通勤手当		492
	超過勤務手当		5,813
	休日給		148
	期末勤勉手当		10,783
	住居手当		796
	児童手当		40
	子ども手当		390
・ 共済費			10,205
	市町村職員共済組合負担金		

◎農業振興の経費

農業振興運営事業	【 産業振興課 】
-----------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興：農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定を図ることで市場の経営基盤確立と野菜の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【事業の内容】

- (1) 農業振興運営事業
 - ・ 農業者・関係団体・公募市民等から組織する協議会において、鎌倉の農業振興について協議・検討を行った。
 - ・ 鎌倉青果地方卸売市場に対する補助、秋の収穫まつりの実施などにより、農業の振興を図った。
 - ・ 植木剪定材を利用し、農業に適した堆肥を作成・販売することにより、堆肥の利用を促進し化学肥料の使用量減量化に取り組んだ。
- (2) 農業施設整備事業
 - ・ 農道等農業用施設の整備・補修を要する事業はなかった。

【中事業に含まれる実施計画事業】

農産物等ブランド事業(6-2-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,887	11,887	9,937		1,950
主な支出内訳				
・ 農業振興運営事業				
鎌倉市農業振興協議会委員報償費				44
鎌倉ブランド堆肥パッキング等委託料				1,550
秋の収穫まつり等委託料				720
農業関係団体負担金				216
農業振興事業費補助金				3,010
鎌倉青果地方卸売市場活性化事業費補助金				1,882
鎌倉青果地方卸売市場集荷奨励事業費補助金				1,687
鎌倉市野菜生産出荷奨励事業費補助金				694
・ 農業施設整備事業				
農業施設維持修繕料				0
農業用施設等整備委託料				0

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 15農業水産業振興費

◎農業振興の経費

市民農園事業

産業振興課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【事業の内容】

(1) 市民農園事業

- ・大船地区市民農園の維持整備を行い、第8期(平成22年4月から23ヵ月)の利用を開始した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,108	1,108	915		193

主な支出内訳

・市民農園事業

市民農園耕作指導料等報償費

514

市民農園施設整備等委託料

401

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 15農業水産業振興費

◎水産業振興の経費

水産業振興運営事業	【 産業振興課 】
------------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【事業の内容】

(1) 水産業振興運営事業

- ・ 漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体の事業等への参加により、水産業の振興を図った。
- ・ 自然災害時における漁具倉庫等の漁業施設被害に対する見舞金の支給を要する災害はなかった。
- ・ 水産業振興施策検討のため、鎌倉沖海域の水産資源調査を実施し水産資源の状況把握を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,883	4,883	3,532		1,351

主な支出内訳

・ 水産業振興運営事業

鎌倉地域水産業啓発事業参加団体謝礼	0
鎌倉沖海域水産資源調査用船舶借上げ謝礼	63
鎌倉沖海域水産資源調査委託料	374
神奈川県水産振興促進協会等負担金	543
漁業施設等災害見舞金	0
漁具被害防止事業補助金	950
鎌倉漁業協同組合事業費補助金	945
腰越漁業協同組合事業費補助金	595

◎水産業振興の経費

漁港施設管理運営事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良い維持管理を行うとともに、老朽化や係船岸・泊地・漁業用地の不足などの改善と、市民にも利用しやすい漁港施設の整備を図るため。鎌倉地域の漁港建設の方針策定を図るため。

効果 漁業者が円滑に漁業活動を営むことを支援するとともに、市民に開かれ環境にも配慮した漁港施設を整備することにより、地域に密着した沿岸漁業の振興を図る。

【事業の内容】

- (1) 漁港施設管理事業
 - ・漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
 - ・腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務や、必要な漁業施設整備を行った。
- (2) 漁港施設整備事業
 - ・腰越漁港整備基本計画に基づき、市民の理解を得ながら、整備事業を推進した。
 - ・平成21年度腰越漁港改修整備工事の繰越分工事が5月末に完了した。
 - ・平成22年度腰越漁港改修整備工事は、年度内での完了が困難なため、翌年度へ一部繰越した。
- (3) 鎌倉地域漁港対策事業
 - ・漁業者・関係団体・公募市民等から組織する協議会において、鎌倉地域の漁港建設のあり方について協議・検討を行い、答申を受けた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 鎌倉地域の漁港建設(6-2-3-①)
- 腰越漁港の改修整備(6-2-3-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
357,457	425,457	278,570	142,544	4,343
主な支出内訳				
・ 漁港施設管理事業				
腰越漁港指定管理者選考委員会委員報償費				94
漁港施設等維持修繕料				287
腰越漁港指定管理料				378
漁業施設等整備業務委託料				1,349
・ 漁港施設整備事業				
腰越漁港改修整備工事消波ブロック修繕料				735
腰越漁港改修整備工事仮設道路修繕料				284
水産公共工事システム運用支援委託料				997
腰越漁港改修整備事業環境モニタリング調査委託料				2,289
腰越漁港改修整備事業実施設計業務委託料				1,554
腰越漁港改修整備事業岸壁等安定計算業務委託料				500
腰越漁港改修整備工事費(翌年度への繰越明許費)				195,020
腰越漁港改修整備工事費(前年度からの繰越明許費)				68,000

・鎌倉地域漁港対策事業	
鎌倉漁港対策協議会委員等報償費	186
鎌倉地域漁港建設基本構想策定に関する支援業務委託料	6,000

主な特定財源

・国県支出金	198,430
・地方債	58,700

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 5商工総務費

◎商工一般の経費

商工運営事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出が図られる。

【事業の内容】

(1) 商工運営事業

- ・萩市、上田市、足利市及び本市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。
- ・商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・平塚市から提訴された競輪事業撤退に伴う補償金請求事件について、横浜地方裁判所の判決を受け入れ、賠償金及び訴訟費用を支払った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,751	108,340	108,334		6

主な支出内訳

・商工運営事業

事務補助嘱託員報酬 2人	2,016
姉妹都市物産展開催準備等委託料	487
競輪事業撤退に伴う賠償金	105,706

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 5商工総務費

◎商工一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員等】

市民経済部のうち市民活動課(消費生活担当)・産業振興課(商工担当)

【職員給与費等】

(単位:千円)

職員給与費			61,261
・ 給料	一般職		29,013
	一般職職員	6人	
	再任用(短時間)	1人	
・ 職員手当等			22,509
	扶養手当		703
	地域手当		4,599
	通勤手当		373
	超過勤務手当		3,143
	管理職手当		941
	期末勤勉手当		11,670
	住居手当		686
	管理職員特別勤務手当		4
	子ども手当		390
・ 共済費			9,739
	市町村職員共済組合負担金		8,997
	社会保険料		612
	雇用保険料		130

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎中小企業支援の経費

中小企業支援事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【事業の内容】

- (1) 融資預託事業
 - ・市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関に預託した。
- (2) 信用保証料助成事業
 - ・制度融資の利用者が支払う信用保証料の一部を補助し、負担の軽減を図った。
- (3) 特別融資利子補給事業
 - ・経営安定資金融資の利用者が支払う利子相当額を補助し、負担の軽減を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
549,500	555,500	554,192		1,308
主な支出内訳				
・ 融資預託事業				
中小企業融資制度預託金				500,000
預託先 4金融機関				
融資件数 184件				
融資金額 1,408,996千円				
・ 信用保証料助成事業				
信用保証料補助金			184件	24,485
・ 特別融資利子補給事業				
経営安定資金融資利子補給金		340件		29,707

◎商工業振興対策の経費

商工業振興運営事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興を図るとともに、地域商工業の総合的な改善・発達を図るため。

効果 市内中小企業者の経営安定の確保と、商工業の総合的な改善・発達を図り、産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【事業の内容】

(1) 商工業振興運営事業

- ・中小企業者に対して、店舗改装におけるレイアウト、デザイン演出等についての助言を行った。
- ・伝統的工芸品産業の振興及び企業誘致活動の推進を図る協議会に加入し、情報収集や関係機関との連携を図った。

(2) 商工会議所助成事業

- ・商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,679	15,589	15,559		30

主な支出内訳

・商工業振興運営事業				
商工振興アドバイザー謝礼				30
伝統的工芸品産業振興協会賛助会費				40
神奈川県企業誘致促進協議会負担金				50
・商工会議所助成事業				
商工会議所運営費補助金				7,300
商工業振興事業等補助金				583
中小企業経営支援事業補助金				7,556

◎商工業振興対策の経費

商店街振興事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域商業の振興の実現を図る。

【事業の内容】

(1) 商店街助成事業

- ・鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。

(2) 商店街振興事業

- ・商店街が管理する街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- ・商店街が実施する販売促進、イベント、飾り付け等の事業に要する経費の一部を助成した。
- ・空き店舗対策に取り組む商店街に対して、新規出店者の適性に係る助言を行った。
- ・商店街の空き店舗に出店しようとする者に対して、出店に係る改装費の一部を助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

商店街にぎわいづくり(6-2-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,570	12,433	12,170		263

主な支出内訳

・商店街助成事業				
商店街連合会補助金				1,800
・商店街振興事業				
商店街アドバイザー謝礼				90
商店街空き店舗出店事業費補助金				1,000
商店街空き店舗等活用事業費補助金				0
商店街街路灯等維持管理費補助金				5,683
商店街活性化事業費補助金				3,596

◎商工業振興対策の経費

商工業振興事業	【 産業振興課 】
----------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 商工業者、商店街団体等

意図 商工業者や商店街団体が事業展開しやすい環境を整備するとともに、中小企業の経営革新を支援するため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【事業の内容】

- (1) 商業振興共同施設助成事業
 - ・ 商業団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。
- (2) 新規活性化事業
 - ・ 本市の持つ特性や資源を活用して創業する事業や新製品・新技術・新サービスを開発する事業に要する経費の一部を助成した。
- (3) 工業振興事業
 - ・ 中小企業者が実施する産業財産権取得事業、研修会への派遣事業及び展示会への出展事業に要する経費の一部を助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 産業環境の整備(6-2-6-①)
- 新事業創出支援(6-2-8-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,974	5,974	4,744		1,230
主な支出内訳				
・ 商業振興共同施設助成事業				
商業振興共同施設設置費補助金				2,102
・ 新規活性化事業				
商工業元気up事業選考委員会委員謝礼				10
商工業元気up事業費補助金				2,000
・ 工業振興事業				
環境共生事業(企業施設整備事業)等補助金				632

◎商工業振興対策の経費

公衆浴場助成事業	【	産業振興課	】
-----------------	---	-------	---

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
産業振興：農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場業の健全な運営確保を図り、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋が
り、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【事業の内容】

(1) 公衆浴場助成事業

- ・公衆浴場を確保するため、一定の要件を満たす公衆浴場の用水費、燃料費及び光熱費の一部を助成した。
- ・公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,919	1,919	1,618		301
主な支出内訳				
・ 公衆浴場助成事業				
公衆浴場確保対策事業費補助金				220
公衆浴場設備整備費補助金				1,398
主な特定財源				
・ 国県支出金				90

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

伝統鎌倉彫振興事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【事業の内容】

(1) 伝統鎌倉彫振興事業

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が実施する鎌倉彫創作展開催事業、鎌倉彫体験学習事業、原材料確保に関する事業及び品質表示・消費者への適正な情報の提供事業に要する経費の一部を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,834	1,715	1,688		27

主な支出内訳

・ 伝統鎌倉彫振興事業

鎌倉彫振興事業所光熱水費	405
鎌倉彫振興事業所維持修繕料	185
鎌倉彫振興事業所警備委託料	123
伝統鎌倉彫振興事業補助金	950

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 15消費生活対策費

◎消費者保護の経費

消費生活運営事業

【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

消費生活:消費者が安心して、トラブルのない消費生活を送れるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 担当内の庶務を円滑に推進する。

効果 担当内庶務の円滑化

【事業の内容】

(1) 消費生活運営事業

- ・消費生活行政の経理庶務事務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30	30	25		5

主な支出内訳

- ・消費生活運営事業

消費生活行政に係る消耗品費

5

3市1町連絡協議会負担金

20

◎消費者保護の経費

消費者被害対策事業

【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

消費生活:消費者が安心して、トラブルのない消費生活を送れるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【事業の内容】

(1) 消費者啓発事業

・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や暮らしのニュースなどによる啓発、消費生活モニター事業などを行った。

・市民活動団体との協働で、不用品登録事業を行った。

・消費者運動の健全な発展を促し、支援を図るため、消費者団体に補助金を交付した。

(2) 消費生活相談事業

・消費生活苦情相談を受け、相談員によるあっせん・助言等を行った。また、消費生活委員会紛争調停小委員会に付託を行い、事業者と消費者間で和解が成立した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

消費生活センターの運営と消費者被害の救済(6-5-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,357	16,333	13,587		2,746
主な支出内訳				
・消費者啓発事業				
移動教室、講座講師等謝礼				270
消費生活モニター謝礼				0
暮らしのニュース等印刷製本費				359
不用品登録事業負担金				1,000
消費者団体補助金				25
・消費生活相談事業				
消費生活相談員報酬 8人				9,474
消費生活委員会委員報酬 7人				72
紛争調停小委員会委員報酬 2人				40
消費生活相談員助言報償費				600
消費生活相談員費用弁償				841
消費生活センター周知用消耗品費				6
消費生活相談員助言委託料				500
主な特定財源				
・国県支出金				3,021

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 5観光総務費

◎観光一般の経費

観光運営事業	【	観光課	】
---------------	---	-----	---

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉の魅力を広く周知することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。さらに、それら観光客が安全で快適に観光を楽しむことができるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 観光運営事業
 - ・日本観光協会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広報宣伝や情報交換等に努めた。
 - ・第2期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

観光基本計画の推進(6-3-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,606	4,606	4,475		131
主な支出内訳				
・観光運営事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,016
鎌倉市観光基本計画進行管理委員会委員報償費				110
国際観光調査業務委託料				333
富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会負担金				600
神奈川県観光振興対策協議会負担金				210
湘南地区観光振興協議会負担金				270
鎌倉藤沢観光協議会負担金				180
日本観光協会負担金				120
東大寺サミット負担金				150
神奈川県観光協会等負担金				101

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 5観光総務費

◎観光一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

市民経済部観光課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		51,413
・ 給料	一般職	21,285
	一般職職員	5人
・ 職員手当等		23,102
	扶養手当	1,092
	地域手当	3,498
	通勤手当	775
	超過勤務手当	6,274
	休日給	114
	管理職手当	946
	期末勤勉手当	8,999
	住居手当	1,114
	児童手当	30
	子ども手当	260
・ 共済費		7,026
	市町村職員共済組合負担金	

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 10観光振興費

◎観光振興の経費

観光振興事業	【	観光課	】
---------------	---	-----	---

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉の観光情報をタイムリーに提供することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。また、主要観光行事などの開催支援や、案内業務を適切に行うことによって、観光客に安全で快適に観光を楽しむことができるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 観光振興支援事業
 - ・ 鎌倉観光三大行事(鎌倉まつり、鎌倉花火大会、薪能)や俳句&ハイク、鎌倉ビーチフェスタなどに負担金、補助金を交付し、様々な鎌倉観光の魅力伝えることに努めた。
 - ・ 着地型観光商品の開発や新たな観光資源のPRに向け、観光客ニーズや地域資源の調査及び観光資源を支える人材・団体のネットワーク構築を図った。
- (2) 広報宣伝事業
 - ・ かまくら四季のみどころなどのパンフレット類やホームページの充実を図り、観光客への適切な情報提供に努めた。
 - ・ 観光マップ「鎌倉」は、東日本大震災に伴う影響から、年度中の納品が困難になったため、翌年度への事故繰越しを行った。
- (3) 観光協会支援事業
 - ・ 観光協会の運営に対する支援を行い、鎌倉の観光振興の充実に努めた。
- (4) 観光案内所運営事業
 - ・ JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

観光情報の提供充実(6-3-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
89,349	87,892	83,306	691	3,895
主な支出内訳				
・ 観光振興支援事業				
観光資源ネットワーク構築及び着地型観光商品開発等にかかる支援業務委託料				16,253
俳句&ハイク事業負担金				600
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金				1,100
鎌倉花火大会実行委員会負担金				5,004
主要観光行事安全対策負担金				5,000
鎌倉まつり・薪能等補助金				6,290
・ 広報宣伝事業				
四季のみどころ印刷製本費				1,184
観光マップ「鎌倉」作成業務委託料(翌年度への事故繰越し)				0
観光ポスター作成業務委託料				678

ホームページ更新業務委託料	628
外国語ガイド活動支援補助金	100
・観光協会支援事業 鎌倉市観光協会運営費補助金	36,484
・観光案内所運営事業 観光案内所業務委託料	9,754
主な特定財源	
・国県支出金	16,253

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 10観光振興費

◎観光振興の経費

観光施設整備事業

観光課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 施設面での充実を図ることにより、観光客が安全で快適に観光できるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

(1) 観光施設整備事業

- ・既存の観光案内板等の維持管理を行った。
- ・寿福寺公衆トイレの改築工事やその他の公衆トイレの修繕を実施して清潔で安全な空間確保に努めるとともに、ハイキングコースの清掃及び安全の確保に努めた。
- ・由比ガ浜海岸中央トイレについては、前年度からの繰越明許費により整備した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

公衆トイレの整備(6-3-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,205	77,851	76,841		1,010
主な支出内訳				
・観光施設整備事業				
公衆トイレ等維持修繕料				8,264
公衆トイレし尿処理手数料				1,599
観光案内板作成委託料				89
ハイキングコース清掃・特別清掃委託料				1,320
仮設トイレ(建替えトイレ用)清掃委託料				167
寿福寺公衆トイレ改築工事監理業務委託料				872
由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃等委託料				221
由比ガ浜海岸中央トイレ改築工事監理業務委託料(前年度からの繰越明許費)				1,628
由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料				1,071
寿福寺公衆トイレ改築工事請負費				23,982
由比ガ浜海岸中央トイレ改築工事請負費(前年度からの繰越明許費)				36,634
ハイキングコースパトロール事業負担金				200
協働型トイレ事業協力金				0
主な特定財源				
・国県支出金				
				10,240
・地方債				
				37,800

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 15海水浴場費

◎海水浴場の経費

海水浴場運営事業

観光課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場を3海岸で開設するために、安全確保のための諸設備の整備、監視業務等の委託を行い、安全で快適な海水浴を楽しむことができるようにするため。

効果 海水浴客にとっては、安全に海水浴を楽しむことによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

(1) 海水浴場運営事業

- ・海水浴場開設に必要な電気・水道・放送設備やコースロープを整備した。
- ・なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保に努めた。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,236	46,922	46,737		185

主な支出内訳

・海水浴場運営事業

海水浴場監視業務等委託料	25,257
なぎさ整地事業委託料	4,680
砂防柵の撤去及び設置委託料	1,459
放送設備及び放送塔設置委託料	1,696
コースロープ設置委託料	1,548
仮設木橋設置委託料	1,491
防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料	2,690
監視所・仮設トイレ等賃借料	5,177
海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金	490

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎土木管理一般の経費

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【事業の内容】

(1) 土木管理運営事務

- ・部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
312	312	235		77

主な支出内訳

・土木管理運営事務

一般文具等消耗品費

235

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎土木管理一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)
都市調整部のうち都市調整課・開発指導課・建築指導課
都市整備部のうち都市整備総務課・国県道対策担当・道水路管理課・建築住宅課(住宅担当を除く)・作業センター

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			1,008,461
・ 給料	一般職		477,585
	一般職職員	106人	
	再任用(短時間)	6人	
・ 職員手当等			375,838
	扶養手当		17,930
	地域手当		76,230
	通勤手当		13,288
	超過勤務手当		25,932
	休日給		263
	管理職手当		12,409
	特殊勤務手当		4,059
	期末勤勉手当		196,944
	住居手当		23,160
	管理職員特別勤務手当		101
	児童手当		270
	子ども手当		5,252
・ 共済費			155,038
	市町村職員共済組合負担金		153,470
	社会保険料		1,357
	雇用保険料		211

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎がけ地対策の経費

がけ地対策事業

【 総合防災課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

地域安全: 災害対策、交通事故や犯罪などの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施行し市民の保護を図る。

【事業の内容】

(1) 既成宅地等防災工事助成事業

・既成宅地等におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。

(2) 急傾斜地防災工事負担事業

・県が指定する急傾斜地崩壊危険区域内で行われる市内の急傾斜地防災工事事業費の約2割を県に支払うとともに、防災工事の促進を働きかけ指定区域の拡大を図った。

(3) 急傾斜地崩壊対策事業

・急傾斜地崩壊対策事業等の普及発達及びその促進を図った。

・防災工事費に対する借り入れ利子の半額を助成する。(平成22年度は実績なし)

【中事業に含まれる実施計画事業】

既成宅地等防災工事費の助成(5-1-2-①)

急傾斜地崩壊危険区域の指定及び防災工事の促進(5-1-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
159,270	133,270	129,552		3,718
主な支出内訳				
・既成宅地等防災工事助成事業				
非常勤嘱託員報酬 2人				2,016
既成宅地等防災工事補助金				17,873
既成宅地等防災工事融資預託金				2,385
・急傾斜地防災工事負担事業				
急傾斜地防災工事負担金				106,687
・急傾斜地崩壊対策事業				
神奈川県治水砂防協会負担金				365
既成宅地等防災工事利子補給金				0

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

道(水)路調査事業	【 道水路管理課 】
------------------	------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界査定を行う外、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちが実現される。

【事業の内容】

(1) 道(水)路調査事業

- ・ 査定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、査定図を作成した。
- ・ 市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
96,098	67,507	67,013		494
主な支出内訳				
・ 道(水)路調査事業				
土地境界査定図交付事務等臨時的任用職員賃金				1,101
境界査定立会等業務委託料				41,672
境界立会 122回、打合せ協議 58回、石標埋設 224本、金属標埋設 75枚 4級基準点測量(伐採なし) 23,116.9m、同(伐採あり) 1,519.0m、 境界点測量 1,004点、査定図作成 143,353.5㎡外				
狭あい道路拡幅整備事業境界査定立会等業務委託料				6,845
境界立会 30回、石標埋設 2本、金属標埋設 10枚 4級基準点測量(伐採なし) 2,758.5m、境界点測量 95点、 査定図作成 26,250.9㎡外				
境界査定用境界杭等原材料費				550
狭あい道路拡幅用地等購入費				10,922
道路用地購入費				5,859
主な特定財源				
・ 国県支出金				4,605

◎道路管理の経費

道路台帳整備事業

道水路管理課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上が図れる。

【事業の内容】

(1) 道路台帳整備事業

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路及び水路等の境界査定図を管理・交付するためのシステムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査事業(官民境界等先行調査)は、事前に実施する国直轄事業の遅延のため、翌年度に繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地籍調査の公共施設管理への活用(5-4-3-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
84,065	77,979	70,670	5,000	2,309
主な支出内訳				
・道路台帳整備事業				
法定外公共物等所管確認事務臨時的任用職員賃金				1,135
境界杭復元等業務委託料				30,951
4級基準点測量 28,299.1m、石標埋設復元 94本				
金属標埋設復元 262枚、金釘埋設復元 481本、境界点復元測量 933点				
地形測量 9,302.6㎡、検査探索 2,790点 外				
道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料				6,615
基準点機能回復測量業務委託料				292
土地境界査定図管理システム機器保守委託料				81
土地境界査定図管理システムソフトウェア保守委託料				866
境界座標等成果の電子データ化と座標変換業務委託料				3,413
基準点の現況調査業務委託料				5,194
認定道路の現況調査業務委託料				6,772
水路の現況調査業務委託料				8,747
法定外公共物の現況調査業務委託料				3,045
地籍調査事業測量等業務委託料(翌年度への繰越明許費)				0
土地境界査定図管理システム賃借料				3,016
境界杭等原材料費				543
主な特定財源				
・国県支出金				27,170

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【事業の内容】

(1) 道路施設管理事業

- ・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,739	60,239	57,542		2,697

主な支出内訳

・道路施設管理事業

大船駅東口エスカレーター等監視・清掃等業務委託料	23,436
大船駅東口ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料	2,362
大船駅西口エスカレーター監視・清掃等業務委託料	17,224
道路維持業務委託料	8,492
鎌倉駅通抜地下道清掃等委託料	490
看板作成業務委託料	210
路面凍結防止剤散布委託料	94
路上放置自動車処理業務委託料	0
大船駅東口エスカレーター電気料負担金	707
神奈川県道路利用者会議等負担金	198
道路事故賠償金 3件	660

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理が図られる。

【事業の内容】

(1) 街路照明灯事業

- ・ 防犯上・交通安全上、街路照明灯の設置が充実されていない地域に街路照明灯を設置整備することにより、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行った。
- ・ 地球温暖化対策として、街路照明灯の省エネ型への改修を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

街路照明灯の設置(5-4-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,646	32,368	29,106		3,262
主な支出内訳				
・ 街路照明灯事業				
市内街路照明灯電気料				18,533
街路照明灯維持修繕料				480
街路照明灯修繕業務委託料				2,808
街路照明灯改修(省エネ対策)委託料				4,678
街路照明灯点検作業委託料				893
独立型街路照明灯消灯業務委託料				347
街路照明灯改修業務委託料				787
街路照明灯設置業務委託料				580
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				5,571

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎作業センターの経費

作業センター事業	【 作業センター 】
----------	------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
 市街地整備: まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち
 下水道・河川: 公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【事業の内容】

- (1) 作業センター事業
- ・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。
 - ・補修用原材料費のうち、横断防止柵購入事業については、東日本大震災に伴う影響から、業者の生産が一時停止されたことにより、年度内納入が困難となったため、翌年度へ繰越しを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
104,011	102,540	82,955	127	19,458
主な支出内訳				
・ 作業センター事業				
補修用消耗品費				1,514
作業用車両燃料費				2,586
道路管理施設等維持修繕料				8,204
作業用車両修繕料				2,515
上町屋資材置場警備委託料				107
残土処分委託料				3,278
カーブミラー新設業務委託料				1,995
高圧洗浄による排水管路等しゅんせつ清掃業務委託料				6,806
側溝等しゅんせつ汚泥運搬処分業務委託料				4,434
道路・河川清掃等業務委託料				17,218
維持補修用重機賃借料				4,683
補修用原材料費				25,101
横断防止柵購入事業(翌年度への事故繰越し)				0
2tダンプ等備品購入費				3,301
* 補修用原材料費内訳				
アスファルト合材	635.5	t	11,360	千円
常温合材	760	袋	2,197	千円
カーブミラー部材	121	面	2,449	千円
エキスパンドフェンス部材	122	枚	1,442	千円
U型側溝蓋	338	枚	832	千円
グレーチング蓋	61	枚	686	千円
山碎石	480	m ³	2,218	千円
生コンクリート他	—	式	3,917	千円
* 補修班による維持補修				
アスファルト合材舗装工	2,086	m ²	排水溝等新設工	96.5m
アスファルト舗装打換工	1,252	m ²	カーブミラー新設・補修工	221件

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎営繕事務の経費

設計事務

【 建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【事業の内容】

(1) 設計事務

- ・ 建築設計積算業務に要する公的価格データの作成を委託した。
- ・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。
- ・ 公共建築物の維持保全システムを構築するため、基礎調査委託を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

公共建築物の維持保全システムの構築(0-Ⅱ-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,837	15,837	14,506		1,331
主な支出内訳				
・ 設計事務				
設計業務等補助嘱託員報酬 3人				4,320
設計業務等補助嘱託員費用弁償				115
市場単価データ作成業務委託料				1,321
ファシリティマネジメント基礎調査委託料				1,260
建築積算システム機器賃借料				4,972
構造計算システム機器等賃借料				849
リーダープリンター賃借料				96
マイクロフィルムスキャンシステム賃借料				707

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎都市調整の経費

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【事業の内容】

(1) 都市調整運営事務

- ・鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,809	2,809	2,308		501

主な支出内訳

・都市調整運営事務

事務補助嘱託員報酬 2人	2,016
一般文具等消耗品費	238
図面等印刷製本費	0
神奈川県八市開発許可研究協議会負担金	10

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎開発指導の経費

開発指導事務

開発指導課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【事業の内容】

(1) 開発指導事務

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・租税特別措置法に基づく優良宅地の認定を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
416	416	413		3

主な支出内訳

・開発指導事務

一般文具等消耗品費

243

開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費

150

裁判記録等謄写手数料

0

神奈川県宅地開発行政事務連絡協議会負担金

20

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎建築指導の経費

建築指導事務

【 建築指導課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【事業の内容】

(1) 建築指導事務

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,557	11,557	8,054		3,503

主な支出内訳

・ 建築指導事務

建築審査会委員報酬 3人	128
事務補助嘱託員報酬 2人	2,016
特殊建築物等定期報告業務委託料	2,671
建築基準法に基づく構造計算適合性判定業務委託料	917
長期優良住宅の認定に係る技術的審査業務委託料	0
長期優良住宅等の認定に係る構造計算適合性判定業務委託料	0
建築確認支援システム機器賃借料	802
神奈川建築コンクール負担金	150
神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金	215
日本建築行政会議等負担金	193

建築基準法に基づく確認及び許可等状況

件名	件数
建築確認	111
計画適合通知	17
建築許可	117
仮使用承認	1
道路位置指定	9
長期優良住宅認定	172

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎建築指導の経費

建築相談事業	【 建築指導課 】
---------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 建築相談事業

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を助成した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事や危険ブロック塀等の撤去を行った場合の費用を助成した。
- ・ 共同住宅等の耐震性に関する居住者の意識の熟成を図るため、アドバイザーの派遣を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 木造住宅耐震補強への助成(5-5-3-①)
- マンション等耐震改修促進の啓発(5-5-3-②)
- 危険ブロック塀等対策への助成(5-5-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,698	7,988	5,988		2,000
主な支出内訳				
・ 建築相談事業				
耐震改修アドバイザー派遣事業報償費				34
耐震相談業務委託料				329
現地耐震診断補助金				1,565
木造住宅耐震改修工事費等補助金				3,500
危険ブロック塀等対策事業補助金				560
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				3,675

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)5道路橋りょう総務費

◎道路橋りょう管理の経費

道路橋りょう管理運営事業

【 道路整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

- (1) 道路橋りょう管理運営事業
・ 土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,053	40,053	39,550		503

主な支出内訳

・ 道路橋りょう管理運営事業	
土木積算総合システム保守委託料	9,934
工事資材単価調査委託料	91
土木積算総合システム機器賃借料	28,420
電子複写機賃借料	444

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)5道路橋りょう総務費

◎道路橋りょう管理の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

都市整備部のうち道路整備課・交通政策課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			148,332
・ 給料	一般職		68,856
	一般職職員	18人	
・ 職員手当等			56,214
	扶養手当		3,257
	地域手当		11,083
	通勤手当		1,851
	超過勤務手当		4,648
	休日給		111
	管理職手当		1,771
	特殊勤務手当		0
	期末勤勉手当		29,119
	住居手当		3,212
	管理職員特別勤務手当		12
	児童手当		110
	子ども手当		1,040
・ 共済費			23,262
	市町村職員共済組合負担金		23,231
	雇用保険料		31

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)8交通安全施設費

◎交通安全施設整備の経費

交通安全施設整備事業

【 道路整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【事業の内容】

- (1) 交通安全施設維持事業
 - ・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。
- (2) 交通安全施設整備事業
 - ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、スクールゾーンの安全対策を実施した。
市道050-000号線の交通安全対策施設工事を行った。
 - ・前年度から事故繰越した、市道013-000号線外4路線の交通安全対策施設工事を行った。
 - ・前年度からの繰越明許費により、市道053-000号線外の交通安全対策施設工事を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,061	29,201	25,051		4,150
主な支出内訳				
・交通安全施設維持事業				
ガードレール塗装等維持修繕料(常盤270番地先 L=56m)				519
道路ライン等設置業務委託料 (区画線3,935.7m、文字記号2,761.9m、交差点鉾1箇所)				3,478
・交通安全施設整備事業				
歩道段差切下げ等交通安全対策施設工事請負費				21,054
内訳				
岡本1343番地先外(市道050-000号線外) 横断防止柵設置工等 L=252m				5,544
小袋谷609番地先(市道057-000号線) 歩行空間カラー舗装等 A=262㎡				2,362
七里ガ浜東一丁目2番先外(市道013-000号線外4路線) 段差切下げ工N=19箇所(前年度からの事故繰越し)				5,640
玉縄四丁目1番地先外(市道053-000号線外) 段差切下げ工N=21箇所(前年度からの繰越明許費)				7,508
主な特定財源				
・国県支出金				10,918

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)8交通安全施設費

◎交通安全施設整備の経費

交通安全対策事業

【 道路整備課・交通政策課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
 地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち
 道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少、交通バリアフリー化を図る。

【事業の内容】

(1) 交通安全対策事業

- ・あんしん歩行エリア(鎌倉地区)内の舗装のカラー化等、事故削減対策を実施した。大船地区については、地元及び警察署との調整に時間を要する結果となり、実施を見送った。
- ・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・スクールゾーンの交通安全対策として行ったカラー舗装等の委託2件のうち、1件を実施したが、1件は東日本大震災に伴う影響から資材の調達が困難となったため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・市内有数の交通量のある湘南モノレール富士見町駅前横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- スクールゾーンの整備(5-3-3-②)
- あんしん歩行エリアの整備(5-4-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,504	25,314	19,305	2,211	3,798
主な支出内訳				
・交通安全対策事業				
交通安全教育指導員報酬 3人				4,765
自転車教室指導員謝礼				604
交通安全教育指導員費用弁償				237
スクールゾーン対策業務委託料				3,958
スクールゾーン対策(その2)業務委託料(翌年度への事故繰越し)				0
富士見町駅前交通誘導業務委託料				595
鎌倉駅周辺地区あんしん歩行エリア整備工事請負費 歩行空間カラー舗装 A=103㎡				1,050
大船駅周辺地区あんしん歩行エリア整備工事請負費				0
鎌倉市交通安全対策協議会等補助金				8,047
主な特定財源				
・国県支出金				495

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)8交通安全施設費

◎交通安全施設整備の経費

放置自転車防止事業

【 交通政策課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【事業の内容】

(1) 放置自転車防止事業

- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の警備を委託した。
- ・保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
54,305	48,905	47,281		1,624
主な支出内訳				
・ 放置自転車防止事業				
放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人				8,577
事務補助嘱託員報酬 2人				2,016
放置自転車等防止対策業務委託料				31,576
放置自転車等保管場所警備業務委託料				330
放置自転車等廃棄処分業務委託料				245
放置自転車等防止対策看板設置委託料				457
駐輪場土地賃借料				2,369

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)10道路維持費

◎道路維持の経費

道路維持補修事業

【 道路整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

(1) 道路維持補修事業

- 道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、スクールゾーンの安全対策を実施した。
市道008-000号線外の道路維持修繕工事を行った。
市道013-050号線外の道路維持修繕工事を行った。
市道004-000号線の道路維持修繕工事を行った。
市道053-101号線の道路維持修繕工事は実施出来なかった。
- 道路維持修繕工事のうち2件については、東日本大震災に伴う影響から、資材の調達が困難となったため、翌年度へ繰越しを行った。
- 前年度からの繰越明許費により、市道031-000号線外、外1件の道路維持修繕工事を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
139,895	138,895	114,566	11,884	12,445
主な支出内訳				
・道路維持補修事業				
崩落土砂処分等業務委託料 10件				13,961
道路維持修繕工事請負費				100,605
内訳				
扇ガ谷一丁目9番先外(市道008-000号線外)舗装打替・排水整備 舗装工A=1,546㎡、排水工L=28m				26,565
稲村ガ崎五丁目4番先(市道013-050号線外)舗装・排水整備 舗装工A=287㎡、排水工L=92.5m				6,274
材木座一丁目2番先(市道004-000号線)排水整備 排水工L=150.3m				2,885
岡本二丁目4番先(市道053-101号線)階段復旧 外6件 舗装・排水整備等				0 46,271
台四丁目7番先(市道056-027号線外) 階段工L=44.4m、排水工L=36.3m (翌年度への事故繰越し)外1件 舗装・排水整備				6,430
笹目町1番先外(市道031-000号線外) 舗装工A=1,215㎡、排水工L=93.3m (前年度からの繰越明許費)外1件 舗装・排水整備				12,180
主な特定財源				
・国県支出金				12,180

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)15道路新設改良費

◎道路新設改良の経費

道路新設改良事業

【 道路整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び電線類の地中化により都市景観等の生活環境の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 道路新設改良事業

- ・歩行者や自転車、自動車が安全に通行できるよう、質の高い道路環境の創出を図った。
前年度からの事故繰越し分を含め、市道032-000号線小町通りの電線共同溝工事を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

電線類の地中化(5-4-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
272,000	552,397	476,050		76,347
主な支出内訳				
・道路新設改良事業				
小町通り電線共同溝工事委託料(前年度からの事故繰越し) 修正設計、家屋調査、引込連系工事、管路及び特殊部設置工事				207,699
小町通り電線共同溝工事委託料 引込連系工事、管路、特殊部設置及び柱体工事				243,614
小町通り電線共同溝工事に伴う支障物件移転補償金 ガス、水道、電気、通信				24,737
主な特定財源				
・国県支出金				110,893
・地方債				275,000 267,000

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)20橋りょう維持費

◎橋りょう維持の経費

橋りょう維持補修事業

【 道路整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

- (1) 橋りょう維持補修事業
- ・小袋谷跨線橋定期点検を委託し実施した。
 - ・劣化が著しい箇所への補修等により、安全な交通を確保した。
 - ・橋りょうの長寿命化修繕計画を策定するための点検調査を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

生活道路の整備(小袋谷跨線橋)(5-4-2-⑥)
橋りょうの長寿命化修繕計画の策定(5-4-2-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,561	19,101	15,095		4,006
主な支出内訳				
・橋りょう維持補修事業				
琴弾橋外高欄等維持修繕料				3,419
高欄、スラブ補修及び手摺設置				
小袋谷跨線橋定期点検調査委託料				2,381
橋りょう点検調査一式 簡易目視点検調査調査一式				
橋りょう点検調査委託料(市内各所)32箇所				4,095
山崎1562番地先橋りょう拡幅工事請負費				5,200
ボックスカルバート設置 L=10.6m				
主な特定財源				
・国県支出金				2,169

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 5河川総務費

◎河川管理の経費

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 道路・河川維持管理協力団体等

意図 良好な市道・河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【事業の内容】

(1) 河川管理運営事業

- ・河川の良好な環境を維持するため、清掃等維持管理作業及び環境実態調査等を協力団体に依頼した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,489	1,489	1,488		1

主な支出内訳

・河川管理運営事業

河川維持管理協力団体報償費

240

浸水対策排水施設用地土地賃借料

1,229

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 5河川総務費

◎河川管理の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

都市整備部河川課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			47,407
・ 給料	一般職		22,648
	一般職職員	5人	
・ 職員手当等			17,397
	扶養手当		789
	地域手当		3,666
	通勤手当		669
	超過勤務手当		722
	管理職手当		1,002
	期末勤勉手当		9,294
	住居手当		1,245
	管理職員特別勤務手当		10
・ 共済費			7,362
	市町村職員共済組合負担金		

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 10河川維持費

◎河川・雨水施設維持の経費

河川維持補修事業

【

河川課

】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【事業の内容】

(1) 河川維持補修事業

・ 準用河川の護岸の補強・修繕工事を行った。

準用河川新川(常盤165番地3先)

・ 準用河川等のしゅんせつを行った。

・ 神奈川県下の治水及び利水に関する企画、調査及び研究や治水及び利水事業の促進を目的として、県内市町村で構成されている、神奈川県河川協会へ参加した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

準用河川等の修繕(5-6-2-①)

雨水施設の修繕(5-6-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,024	36,024	31,879		4,145
主な支出内訳				
・ 河川維持補修事業				
河川管理施設突発的維持修繕料				4,507
滑川維持修繕料				3,298
準用河川等しゅんせつ業務委託料				2,958
準用河川維持修繕工事請負費				21,000
河川維持修繕工事(準用河川新川)常盤165番地3先 根固工 L=22.4m				
神奈川県河川協会負担金				116
地下埋設物移設等補償金				0

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 10河川維持費

◎河川・雨水施設維持の経費

雨水施設維持管理事業

【 河川課・浄化センター 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【事業の内容】

(1) 雨水施設維持管理事業

- ・雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,878	18,878	15,035		3,843
主な支出内訳				
・雨水施設維持管理事業				
雨水調整池光熱水費				5,184
雨水調整池管理施設等突発的維持修繕料				2,247
雨水調整池自家用電気工作物等点検手数料				2,516
雨水調整池ポンプ機器総合点検等委託料				3,854

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって均衡のある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【事業の内容】

(1) 都市計画運営事務

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の変更及び都市計画事業の認可の手続を行った。
- ・都市計画道路の見直しに係る個別路線の検証、見直しの方向性の整理を行った。
- ・都市計画図等の修正、印刷を行った。
- ・都市マスタープランの評価・検討を行い、「鎌倉市都市マスタープラン白書2011」として取りまとめるとともに、一連の業務として普及・啓発を目的としたパンフレットの作成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

都市マスタープランの推進(5-2-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,257	8,257	6,385		1,872
主な支出内訳				
・都市計画運営事務				
都市計画審議会委員報酬 14人				204
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
都市計画図等印刷製本費				2,205
都市マスタープラン普及・啓発用パンフレット印刷製本費				0
都市計画データ修正業務委託料				620
鎌倉市都市計画業務支援システム保守業務委託料				441
都市マスタープラン評価・検討等業務委託料				1,000
都市計画協会負担金				161

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

景観部
まちづくり政策部都市計画課
都市整備部交通政策課
拠点整備部のうち大船駅周辺整備課・鎌倉深沢地域整備課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		564,679
・ 給料	一般職	257,072
	一般職職員	64人
・ 職員手当等		222,060
	扶養手当	9,442
	地域手当	41,857
	通勤手当	7,492
	超過勤務手当	24,695
	休日給	346
	管理職手当	12,534
	期末勤勉手当	107,444
	住居手当	13,703
	管理職員特別勤務手当	216
	児童手当	210
	子ども手当	4,121
・ 共済費		85,547
	市町村職員共済組合負担金	

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

都市景観形成事業

都市景観課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

都市景観:歴史・文化・みどりにより風格ある都市景観が醸成されたまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることに
より、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【事業の内容】

(1) 都市景観形成事業

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画の充実を図るため「特定地区」指定に向けた検討を行った。
- ・ 鎌倉市屋外広告物条例の制定に向けた検討・普及啓発を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

景観計画の運用(3-2-1-①)

屋外広告物の適正な規制・誘導(3-2-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,724	8,224	6,522	0	1,702

主な支出内訳

・ 都市景観形成事業

景観審議会委員報酬 10人	278
景観計画特定地区指定に伴う調査検討業務委託料	0
景観重要建築物等調査委託料	100
景観重要建築物等指定プレート製作設置等委託料	248
違反広告物除却業務委託料	642
行政刊行物販売委託料	47
景観重要建築物等助成金	4,462
景観形成協議会活動助成金	0

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

風致地区事務

【 都市景観課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

都市景観:歴史・文化・みどりにより風格ある都市景観が醸成されたまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【事業の内容】

(1) 風致地区事務

- ・風致地区内行為許可事務を行った。
- ・歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・歴史的風土保存区域から歴史的風土特別保存地区への指定拡大に伴う関係機関との調整を行った。
- ・古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

歴史的風土特別保存地区の指定(2-1-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,423	1,323	1,267		56
主な支出内訳				
・風致地区事務				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
一般文具等消耗品費				53
都市計画決定関連図書作成業務委託料				0
古都保存連絡協議会負担金				50

◎都市計画一般の経費

国県道対策運営事務

【 国県道対策担当 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【事業の内容】

(1) 国県道対策運営事務

- ・小袋谷跨線橋の架け替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,288	1,288	729		559

主な支出内訳

・国県道対策運営事務	
事務補助嘱託員報酬 1人	588
事務補助嘱託員費用弁償	34
首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金	60
関東国道協会負担金	40

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

国県道対策事業

【 国県道対策担当 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業用地を確保するため、市有地の売却を行い事業の促進を図る。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【事業の内容】

(1) 国県道対策事業

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため、大船地域自転車等保管場所用地を神奈川県に売却するにあたり、不動産鑑定評価を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,550	450	365		85

主な支出内訳

・国県道対策事業

不動産鑑定評価委託料

315

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

道路整備計画等運営事務

道路整備課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 道路整備計画等運営事務

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200	200	190		10
主な支出内訳				
・道路整備計画等運営事務 神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金				190

◎市街地整備の経費

市街地整備運営事業	【 再開発課 】
-----------	----------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 大船駅周辺整備事務所(拠点整備部)

意図 部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。

効果 事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

【事業の内容】

(1) 市街地整備運営事業

- ・ 部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 施設の適正な維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,706	3,706	2,997		709
主な支出内訳				
・ 市街地整備運営事業				
一般文具等消耗品費				296
車両燃料費				142
光熱水費				714
維持修繕料				499
備品修繕料				0
車両修繕料				101
電信料				560
消防設備点検手数料				15
火災等保険料				83
警備業務委託料				78
清掃業務委託料				172
FAX・コピー複合機保守点検業務委託料				293
NHK放送受信料等				36
自動車重量税				8

◎拠点整備の経費

古都中心市街地整備事業 【 鎌倉深沢地域整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口周辺地区では、駅前広場、交差点改良等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口を整備する。

【事業の内容】

- (1) 古都中心市街地整備事業
 - ・ 鎌倉駅西口周辺地区の駅前広場整備については、一部の権利者の合意形成が図られず、予定していた広場整備の検討や協議会の運営等が進められなかった。そのため、当初予定していた建物共同化に係る建築計画作成や資金計画の検討に至らなかったことから、合意形成に向けた権利者対応等を行った。
- (2) 古都中心市街地整備事務
 - ・ 拠点整備についての情報を収集するため、(財)都市みらい推進機構、市街地整備促進協議会に参加した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

鎌倉駅周辺地区の整備(古都中心市街地まちづくり構想の推進)(5-2-1-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,339	5,339	498		4,841
主な支出内訳				
・ 古都中心市街地整備事業				
古都中心市街地まちづくり専門員報償費				0
鎌倉駅西口周辺地区駅前広場整備推進業務委託料				0
鎌倉駅西口周辺地区建物共同化支援業務委託料				0
・ 古都中心市街地整備事務				
一般文具等消耗品費				248
陽画等印刷製本費				0
(財)都市みらい推進機構負担金				200
市街地整備促進協議会負担金				50

◎拠点整備の経費

深沢地域整備事業

鎌倉深沢地域整備課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【事業の内容】

(1) 深沢地域整備事業

- ・民間活力を導入した公民連携による施設整備に向けた準備等を行う予定であったが、JR大船工場跡地の土壌汚染の顕在化に伴い、土地利用検討が進まなかったため、土壌汚染対策を踏まえた土地利用検討をJRと共同で行った。
- ・「深沢地区事業推進専門委員会」において事業方式及び整備スキームの検討を行う予定であったが、策定された土地利用計画(案)の実現を図るため、公民連携による施設立地に係る実施計画等の検討を行うとともに、まちづくりガイドライン作成のための基本的事項の整理を行った。
- ・「湘南地区整備連絡協議会」の運営を行った。
- ・新駅に関連する交通施策や新駅設置に係る概算費用の検討調査業務の負担を行った。
- ・土木積算総合システムの保守業務を行うとともに、機器を賃借した。
- ・前年度からの繰越明許費により、土壌汚染対策等を踏まえた土地利用検討や民間事業者ヒアリングを踏まえ、専門的視点から「深沢地区事業推進専門委員会」において土地利用計画(案)を策定した。
- ・土地利用計画(案)が策定されたことを受け、早期の事業着手に向けて、都市計画決定等に必要となる図書作成及び調査を実施するため、12月議会において補正対応し、翌年度へ繰越しを行った。

(2) 深沢地域整備事務

- ・既に取得した用地の管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深沢地域国鉄跡地周辺の整備(5-2-1-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,096	59,647	30,206	12,915	16,526
主な支出内訳				
・ 深沢地域整備事業				
深沢地区事業推進専門委員会等報償費				204
市街地整備アドバイザー報償費				85
深沢地区事業促進等検討業務委託料(前年度からの繰越明許費)				11,991
土木積算総合システム保守業務委託料				322
深沢地区事業促進検討業務委託料				4,400
深沢地区公民連携方策等検討業務委託料				4,147
深沢地区事業化推進検討業務委託料(翌年度への繰越明許費)				0
土木積算総合システム機器賃借料				402

湘南地区整備連絡協議会負担金	100
村岡・深沢地区拠点づくり検討調査負担金	2,900
・ 深沢地域整備事務	
事務補助嘱託員報酬 2人	2,016
事務補助嘱託員費用弁償	184
一般文具等消耗品費	200
陽画等印刷製本費	30
深沢地域取得済用地管理業務委託料	3,225
主な特定財源	
・ 国県支出金	6,813

◎大船駅周辺整備の経費

周辺整備事業	【 大船駅周辺整備課 】
--------	--------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想に定める地区の将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため。

効果 ①商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち②優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち③活力に溢れ暮らしに文化の香りたようまちを創造する。

【事業の内容】

(1) 周辺整備事業

- ・取得済の大東橋北側市街地整備用地に照明灯を設置し、歩行者の安全を確保した。
- ・砂押川沿い桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅東口のバリアフリー化に向けた、エレベーター等を整備するため、JRが実施した詳細設計に対し、前年度からの繰越明許費により負担を行った。

(2) 周辺整備運営事業

- ・まちづくり協議会(2地区)を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

駅の拡充整備(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑤)

大東橋周辺地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑥)

鎌倉芸術館周辺地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑦)

大船駅南部地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,878	34,878	25,108		9,770
主な支出内訳				
・ 周辺整備事業				
鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務専門員報償費				48
鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務用消耗品費				117
鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援樹木管理委託料				236
大東橋北側市街地整備用地整備工事請負費				1,302
大船駅東口エレベーター等詳細設計負担金(前年度からの繰越明許費)				21,036
・ 周辺整備運営事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,009
まちづくり協議会(2地区)専門委員報償費				96
事務補助嘱託員費用弁償				96
まちづくり協議会(2地区)用等消耗品費				33
カラープリンター用消耗品費				90
土木積算プリンター用消耗品費				31
カラーコピー等印刷製本費				14

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎大船駅西口整備の経費

西口整備事業

【 大船駅周辺整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅西口駅前の円滑な交通機能の確保、市民等の利便性と安全性の向上を図るため。

効果 ①歩行者と車両分離による安全性と快適性を確保する②バス停の集約化を図る③駅前の渋滞解消を図る。

【事業の内容】

(1) 西口整備事業

- ・「鎌倉市域における整備計画」に基づき、ペDESTリアンデッキ及び公共広場等の整備工事を進めた。また、継続費年割額の残額は、翌年度へ繰越した。
- ・公共広場等整備工事の工期を延長したため、建築工事監理業務を翌年度へ繰越した。
- ・公共広場内に建設する公衆トイレへの給水管の敷設が23年度になったため、翌年度へ繰越した。
- ・事業用地内の電柱等、支障物件の移設等が23年度になったため、翌年度へ繰越した。
- ・西口利用者の利便性、快適性を確保するため、エレベーター、トイレ等の維持管理を行った。

(2) 西口整備運営事業

- ・大船駅西口新乗降口の維持管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

大船駅西口整備事業(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,193,638	1,433,087	593,234	839,130	723
主な支出内訳				
・西口整備事業				
エレベーター等光熱水費				757
エレベーター等維持修繕料				164
エレベーター電信料				38
公衆トイレ清掃業務委託料				499
エレベーター及び階段下ポケットパーク清掃業務委託料				251
エレベーター設備保守管理業務委託料				605
エレベーター等監視・警備業務委託料				133
通路階段清掃業務委託料				136
大船駅西口公共広場内建築工事監理業務委託料(翌年度への繰越明許費)				2,200
大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料				1,542
大船駅西口公共広場用地賃借料				40,639
電柱設置土地使用料(JR用地)				9
ケーブル架線東電柱使用料				6
大船駅西口ペDESTリアンデッキ等整備工事請負費				546,000
(継続事業・22年度分 前年度からの通次繰越含む)				

大船駅西口公共広場等整備工事請負費(継続事業・22年度分)	0
大船駅西口整備事業用地水道加入金負担金(翌年度への繰越明許費)	0
支障物件移設等補償金(翌年度への繰越明許費)	0
・西口整備運営事業	
事務用消耗品費	126
施設維持管理用消耗品費	100
カラーコピー等印刷製本費	29
主な特定財源	
・国県支出金	65,200
・地方債	360,400

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑政運営事業	【	みどり課	】
---------------	---	------	---

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【事業の内容】

(1) 緑政運営事業

- ・緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会を開催した。
- ・緑の基本計画の見直しに向けた、資料作成業務を委託した。
- ・緑化地域指定に向けた、調査業務を委託した。
- ・常盤山地区(梶原四丁目)の都市計画決定に必要な図書作成業務を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

緑の基本計画の推進(3-1-1-①)

特別緑地保全地区等の指定の推進(3-1-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,575	11,575	8,779		2,796
主な支出内訳				
・緑政運営事業				
緑政審議会委員報酬 13人				380
緑化推進専門委員報酬 1人				408
緑の基本計画改訂業務委託料				3,600
緑化地域候補地調査業務委託料				2,835
常盤山都市計画決定図書作成業務委託料				994
森林協会等負担金				363

◎緑政の経費

緑地維持管理事業	【 公園海浜課 】
-----------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 緑地維持管理事業

- ・緑地の樹木枝払いや崩落危険箇所の防災工事を行った。
- ・門扉など管理施設老朽化に伴う修繕を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,388	38,865	38,153		712

主な支出内訳

・緑地維持管理事業

管理施設維持修繕料	3,983
緑地維持管理委託料(稲村カ崎1-1号緑地外74箇所 除草工144,148㎡)	28,844
(旧)扇湖山荘火災監視設備設置等警備業務委託料	315
緑地維持管理工事請負費((仮称)浄明寺緑地 落石防止網設置工A=144㎡)	3,675

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑化啓発事業	【 みどり課 】
---------------	----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【事業の内容】

(1) 緑化啓発事業

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー、グリーンバンクの緑化啓発に関する事業について、業務委託を行った。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,574	6,074	5,709		365
主な支出内訳				
・緑化啓発事業				
緑化啓発に関する業務委託料 (委託業務の内訳)				4,269
○緑の学校の企画・運営等 (参加者数=10名(延76名)、開催回数=12回)				
○緑のレンジャー(ジュニア)の企画・運営等 (参加者数=20名(延141名)、開催回数=11回)				
○緑のレンジャー(シニア)の企画・運営等 (参加者数=8名(延57名)、開催回数=11回)				
○緑のレンジャー自主グループの支援・育成 (参加者数=延229名、開催回数=19回)				
○グリーンバンクの企画・運営等				
まち並みのみどりの奨励事業補助金 件数=17件 総延長=208.2m 県費補助金=519千円				1,155
主な特定財源				
・国県支出金				519

◎緑政の経費

街路樹維持管理事業	【 公園海浜課 】
------------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を行いながら、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行い、街路樹を育成するため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成が図れる。

【事業の内容】

(1) 街路樹維持管理事業

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,493	21,493	21,453		40
主な支出内訳				
・街路樹維持管理事業				
街路樹愛護会報償費 21団体				1,365
大船駅東口花壇維持管理委託料				1,644
街路樹維持管理委託料				17,180
〔 清泉小学校街路外57路線除草28,310㎡ 低木刈込8,150㎡ 市役所前街路外18路線 冬季剪定970本 〕				
街路樹植替委託料				413

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

樹林維持管理事業

【 公園海浜課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【事業の内容】

(1) 樹林維持管理事業

- ・対象樹林地を6分割し、毎年度1地区ずつ順番に、枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託しており、平成22年度は、山ノ内・今泉(山ノ内・大船未表示・今泉一～六丁目・今泉台一～七丁目・岩瀬・高野・岡本二丁目・城廻・植木)地区を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,000	16,000	15,649		351

主な支出内訳

・ 樹林維持管理事業

樹林維持管理委託料

15,649

◎緑政の経費

緑地保全事業	【 みどり課 】
---------------	----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【事業の内容】

- (1) 緑地保全基金積立金
 - ・ 寄附による緑地保全基金への積立てを行った。
- (2) 保存樹林等奨励事業
 - ・ 保存樹林、樹木、生垣に対して奨励金を交付し、所有者に対して支援した。
 - ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
 - ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進む恐れのある樹林地等を質的に向上させるための業務を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

緑地確保施策の推進(3-1-1-④)

緑地保全基金の積み立て(3-1-1-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
61,224	54,030	52,094		1,936
主な支出内訳				
・ 緑地保全基金積立金				
緑地保全基金寄附積立金				568
緑地保全基金運用利子積立金				2,587
・ 保存樹林等奨励事業				
確保緑地の整備委託料				4,694
保存樹林奨励補助金				
208件 2,929,649㎡				20,431
保存樹木奨励補助金				
71件 367本				734
保存生垣奨励補助金				
135件 11,348㎡				1,084
緑地保全契約奨励補助金				
140件 739,809㎡				19,156

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

風致保存会助成事業

【

みどり課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【事業の内容】

(1) 風致保存会助成事業

- ・風致保存会を運営するための補助金を交付した。また、鎌倉市風致保存基金に積立てた一般からの寄附金を同会へ寄附金として交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,321	211,691	211,611		80
主な支出内訳				
・風致保存会助成事業				
風致保存会運営費補助金				14,121
風致保存会寄附金				98,745

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎交通政策の経費

交通環境整備事業

【 交通政策課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【事業の内容】

(1) 交通環境整備事業

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査を実施した。
- ・「七里ガ浜パークアンドレールライド」「由比ガ浜パークアンドライド」「江の島パークアンドレールライド」「稲村ガ崎パークアンドレールライド」及び「鎌倉フリー環境手形」の利用者増加に努めた。
- ・バス乗降客の安全の確保及び停車により生じる渋滞の緩和等を図るため、玉縄の児童公園前及び西鎌倉の鎖大師入口において、バスベいの整備を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

バスベいの整備(5-3-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,896	9,096	8,062		1,034
主な支出内訳				
・交通環境整備事業				
交通量調査業務委託料				2,541
パークアンドライド等実施PR委託料				2,637
バスベい整備工事請負費 市道052-000号線外				2,644

◎交通政策の経費

交通体系整備事業	【	交通政策課	】
----------	---	-------	---

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【事業の内容】

(1) 交通体系整備事業

- ・鎌倉市における交通の課題を解決するために市民・交通事業者・関係行政機関等で構成する「鎌倉市交通政策研究会」の調査研究を基に、全市的な観点から鎌倉の交通環境の改善をめざした。同研究会の専門部会である「今小路通り歩行者尊重道路専門部会」から今小路通りの歩行居住環境の改善策について平成18年からの検討結果が「整備計画(案)」としてまとめられ市長へ提言を行った。
- ・北鎌倉駅及び駅周辺の安全確保、利用者の利便性の向上を図るため、駅及び駅周辺の整備の検討を行った。
- ・西鎌倉駅の駅施設及び駅周辺の一体的かつ連続的な通行の安全を図るため、バリアフリー化が実施された。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 地区交通計画の策定(5-3-1-①)
- 西鎌倉駅駅舎のバリアフリー化(5-3-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,440	17,140	16,751		389
主な支出内訳				
・ 交通体系整備事業				
交通政策専門員謝礼				85
西鎌倉駅駅舎周辺歩道整備工事請負費				0
西鎌倉駅駅舎エレベーター設置補助金				16,666
主な特定財源				
・ 国県支出金				8,333

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎海浜の経費

海浜保全事業

【 公園海浜課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 ・樹林地・河川・海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。
・安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【事業の内容】

(1) 海浜保全事業

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
805	805	690		115

主な支出内訳

・海浜保全事業

既存車止め等維持修繕料	97
海岸の障害物処分等業務委託料	0
サーフ90ライフセービング事業等負担金	390

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 20公園費

◎公園の経費

公園運営事業

公園海浜課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 公園運営事業

- ・ 散在ガ池森林公園、鎌倉広町緑地に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
525	525	520		5
主な支出内訳				
・ 公園運営事業				
都市公園等緑化推進専門委員報酬 2人				408
全国都市公園整備促進協議会負担金				42
神奈川県公園緑地行政連絡協議会負担金				15
日本公園緑地協会負担金				55

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 20公園費

◎公園の経費

公園維持管理事業

公園海浜課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり: 豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 公園維持管理事業

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 経年劣化により撤去した遊具などの交換及び市民要望による公園施設(照明灯等)の設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の整備を行った。
- ・ 平成21年10月の台風により崩落した海浜公園園路の復旧工事を行った。なお、請負業者から転落防止柵の製造を受注した業者が倒産したため、別の業者からの納品まで時間を要したことから、平成21年度からの繰越明許費により工事を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

夫婦池公園の整備(3-1-2-③)

六国見山森林公園の整備(3-1-2-④)

街区公園の整備(3-1-2-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
297,096	307,513	307,027		486
主な支出内訳				
・ 公園維持管理事業				
大規模維持修繕料(鎌倉中央公園管理棟修繕、七里ガ浜五丁目公園ネットフェンス修繕外)				14,718
都市公園(笛田公園を除く)指定管理料(財鎌倉市公園協会)				198,172
都市公園(笛田公園)指定管理料(三菱電機ライフサービス(株)湘南支社)				23,015
公園施設設置委託料(石原谷戸公園、台ぶどう公園外)				6,561
崩落土処分等委託料				0
児童遊園等管理委託料				9,618
児童遊園等土地賃借料(ふじみ児童遊園、山崎子どもの広場外)				36,542
(旧)梶原青少年広場賃借料				6,284
鎌倉海浜公園園路崩壊復旧工事請負費(前年度からの繰越明許費)				10,335

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 20公園費

◎公園の経費

公園整備事業	【 公園海浜課 】
---------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【事業の内容】

- (1) 公園整備事業
 - ・七里ガ浜東地区内の街区公園の再整備計画に基づいて、遊具等の交換を行った。
- (2) 公園用地取得事業
 - ・鎌倉広町緑地、(仮称)山崎・台峯緑地用地を取得し、早期開園を目指した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- (仮称)山崎・台峯緑地の整備(3-1-2-①)
- 夫婦池公園の整備(3-1-2-③)
- 街区公園の整備(3-1-2-⑤)
- 鎌倉広町緑地の整備(3-1-2-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,314,301	1,332,275	1,331,353		922
主な支出内訳				
・公園整備事業				
(仮称)山崎・台峯緑地樹林管理等業務委託料				2,986
街区公園遊具交換等委託料				5,900
鎌倉広町緑地維持管理等業務委託料				5,319
いわせ下関青少年広場用地不動産鑑定評価業務委託料				200
夫婦池公園用地賃借料				0
・公園用地取得事業				
(仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価業務委託料				1,146
鎌倉広町緑地不動産鑑定評価業務委託料				662
(仮称)山崎・台峯緑地用地購入費				697,888
鎌倉広町緑地用地購入費				615,244
主な特定財源				
・国県支出金				391,000
・地方債				703,700

(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎市営住宅一般の経費

市営住宅管理運営事業

【 建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【事業の内容】

(1) 市営住宅運営事業

- ・市営住宅入居者選考委員会及び市営住宅指定管理者選定委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・家賃滞納者への催告を行った。

(2) 市営住宅維持管理事業

- ・市営住宅設備等の点検、修繕、建物の改修工事などを行った。
- ・借り上げ住宅の賃借料の支払いを行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、市営梶原東住宅の火災復旧修繕を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
163,096	203,335	199,484		3,851
主な支出内訳				
・市営住宅運営事業				
入居者選考委員報酬 5人				42
事務補助嘱託員報酬 2人				2,016
指定管理者選定委員報酬 5人				84
家賃滞納者催告嘱託員報酬 3人				2,009
事務補助嘱託員費用弁償				191
家賃滞納者催告嘱託員費用弁償				210
・市営住宅維持管理事業				
市営住宅各種維持修繕料				55,761
市営梶原東住宅修繕料(前年度からの繰越明許費)				19,425
地上デジタル放送対応修繕料				928
諏訪ヶ谷ハイツ太陽光発電外灯修繕料				1,659
給水用ポンプ保守点検手数料				787
消防用設備保守点検手数料				433
昇降機保守点検手数料				928
除草・伐採等業務委託料				490
公営住宅電算システム保守点検業務委託料				394
諏訪ヶ谷ハイツ測量業務委託料				496
福祉型借上市営住宅等賃借料				94,542
市営梶原東住宅2号棟外部改修工事請負費				17,798
主な特定財源				
・国県支出金				10,228

(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎市営住宅一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

都市整備部建築住宅課(住宅担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		39,124
・ 給料	一般職	17,019
	一般職職員	4人
・ 職員手当等		16,448
	扶養手当	909
	地域手当	2,814
	通勤手当	673
	超過勤務手当	3,009
	管理職手当	831
	期末勤勉手当	7,271
	住居手当	796
	管理職員特別勤務手当	15
	子ども手当	130
・ 共済費		5,657
	市町村職員共済組合負担金	

(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎住宅政策の経費

住宅政策推進事業

【 建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【事業の内容】

(1) 住宅政策推進事業

- ・市内の空き家住宅利活用による若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・市営住宅の総合的整備計画策定のための耐震診断業務を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

住宅政策の推進(5-5-1-①)

市営住宅の総合的整備計画の策定(5-5-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,248	10,248	3,615		6,633
主な支出内訳				
・住宅政策推進事業				
住宅政策アドバイザー報償費				45
市営住宅耐震診断業務委託料				3,570
主な特定財源				
・国県支出金				1,606